

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル  
(TEL : 052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分  
クラブ会報広報委員長：山崎 彰子

HP : <http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2022-23年度 R.I. テーマ  
会長：ジェニファー E・ジョーンズ

Rotary  
Nagoya Marunouchi



イマジン  
ロータリー

承認  
会長  
幹事  
事務局

1995.03.28

武山 卓史

加藤 豊

名古屋クレストンホテル

1007号

名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

E-mail [seinan1@fancy.ocn.ne.jp](mailto:seinan1@fancy.ocn.ne.jp)

武山卓史会長 年度目標 : 「ロータリークラブは素晴らしい！」 自分と周りが笑顔でつながるクラブを目指して

第1216回例会 No. 25 令和5年 3月30日 (木)

■ロータリーソング	「手に手つないで」
■出席報告	会員43名中22名出席
■出席率	53.65% 出席計算人数41名
■スピーカー	会長エレクト 松尾雄二郎さん

## 会長挨拶

武山卓史



年度末のお忙しい時期にお越しいただきまして、ありがとうございます。久しぶりに「手に手つないで」を歌ったような気がします。僕は米山で歓迎会があると、最後にみんなで「手に手つないで」を歌うのが恒例でしたがコロナ

でなくなり、コロナ以降の今後も手を繋ぐのは色々な意味で問題があるということで、おそらくやらないということです。松尾エレクトが5月ぐらいから握手も再開した方がいいのではないかとご提案されていて、加藤幹事やお医者さん方と相談していこうと思います。

例年より早く桜が満開を迎え、入学式にはもう遅いんじゃないかなというぐらいです。

僕は今、愛知大学の後援会長をやっております。先週は卒業式で名古屋校舎と豊橋校舎の方に参りました。入学式は後援会長の挨拶があります。卒業式は同窓会長が挨拶します。僕も3期目ですが、1期目はコロナで入学式がなく、去年はありました。他の大学だと一つの大きなホールでやりますが、愛知大学は名古屋校舎は校舎の中で学部によって2回に分けてやります。

豊橋校舎はホール借り切り学部によって2回やるので、合計4回挨拶をしないとイケません。去年は名古屋校舎の入学式がすごかったです。コロナで生徒を入れないで配信でやるということで、その代わり表彰を受ける学生、新入生代表は会場に居るということで10人ぐらいの学生の前で挨拶をする。その他の生徒はみんな配信を教室で聞いている。去年息子がちょうど大学院の入学だったので、色々聞きました。「大丈夫なのか？」と。すると息子は「大丈夫。みんな聞いてないから。みんなスマホやっているから大丈夫」って。本当に全然手応えがないです。

今年の卒業式では希望者はホールに入れるので満員でした。入学式とは全然異なり、華やかな袴姿で、結構自由に髪の色

までカラフルでした。愛知大学の豊橋校舎はプロレス同好会があり、前の二人ぐらいがプロレスのマスクしてました。昨年、僕は4回挨拶をしました。学長の後に僕が挨拶をしますから、学長が午後の部の時に、「武山さんは次は何を話してくれるか楽しみです」と言われ、昨年初めてでしたから違う話をしないとイケないのかと、パニックになりました。午後の部が始まり学長の挨拶は、全く同じこと言っていました。学長にしてやられました。僕も普段学長を茶可すのでイケないんでしょう。

今年は学長に対抗して4回全部違うお話してみようかと思っています。

来週が岡山の丸の内ロータリーをお迎えした夜例会となりますので、お間違いないようにしてください。あとからご連絡があるおと思いますが、いつもよりも長めの、1時間30分予定しています。後半の部分で、岡山から来てくださった方々と丸の内、ひとことずつスピーチをしてもらおうかと考えています。来週は楽しくやりたいと思います。



## ニコBOX

●本日の卓話は会長エレクト研修セミナーの報告として次年度の活動目標などをお話頂きます。

会長エレクトの松尾雄二郎さん、宜しく願い致します。

武山、加藤、藤田、堀江亮介、黒田、森田、西川、田島、川原、水野、後藤、河原、岩田、恵利、小野、出口、杉江、高山、田中(敬称略)

松尾さん 本日 PETS 報告いたします。  
よろしく願います。

本日合計44,000円





PETS 報告をさせていただきます。

諸般の事情で休まれている方も若干いましたが、84 クラブのほとんどの同期エレクトと 10 月から 3 回にわたる研修と 3 月 5 日に行われた PETS まで一生懸命勉強して参りました。

テーマや地区からの依頼等々はガバナー補佐、ガバナーからまた詳しくお話もきますので、皆さんが眠くなる前に先に現時点で考えていることをお伝えします。

僕にはロータリーの敷居は高いと思っていましたが、川原弘久さんに紹介して頂きクラブに入会し、2 年間は迷惑をかけないようにとだけ先輩に言われて、右も左もわからないまま例会に出ているうちに、森田さん、水野さん達にゴルフだ、錦だ、ダイビングだと連れ回してもらっているうちに、うちのクラブメンバーでいることの楽しさを覚えました。

酒井法丈ガバナーエレクトが「自分のクラブやメンバーが好きですか」と聞かれて、率直に YES だな、と思いました。

川原さんから「たかが、ロータリー、されど、ロータリー」と言われたことがあります。

もう一つ、増強しないと組織は衰退する。増強が一番大切もお聞きしました。

本当にそう思います。どうせなら一生懸命やる、その方が楽しいというのが僕のスタイルの一つですが、次年度会長やらせていただく上で、入会をお願いして回っているうちに 4、5 名はお付き合いいただけるのではと感触を得ています。

力を入れたいと思う事ですが、

1 つ、**増強**私が 29 代目ですので、30 周年に向けて少しでもメンバーを増やして繋ぐ。

1 つ、**出席**今、例会に出席している方は、勿論出席を続けていただけるように、あまり出てこれない方には、昨年より 1 回多く出てきて欲しい。どうせお昼ご飯はどこかで食べるのだから、木曜の昼くらい少し遠回りしてもクレストンで一緒にとお願ひしたいと思ひます。

1 つ、**同好会**ゴルフ・釣り・ダイビング・美食ご飯会・麻雀。なんでもいひので、年に 1 回以上参加して一緒に遊べる友人をさらに増やしてください。を中心に考えています。

加えまして、次年度アンケートにたくさん答えていただきありがとうございます。先日次年度幹事・プログラム委員長・親睦委員長、他数名でシェアさせていただきました。

概ね外部卓話含め夜間例会も昔のようにという希望が多かったと感じます。参考にいたします。

次年度国際ロータリー会長は、65 歳スコットランド歯医者さん

のゴードン R・マッキナリーさん。26 歳からロータリー会員で奥様もロータリアンです。

テーマは「CREATE HOPE in the WORLD」世界に希望を生み出そう。だそうです。

・**継続と革新**

・**女性と問題**

・**メンタルヘルス**

ご兄弟を亡くされた経験で、特にメンタルヘルスに強いこだわりがあるようです。

いくつかご紹介すると

・**ロータリアンとして、今ほど素晴らしい時は無い。**

(紛争・コロナとかいろいろあるから)傷んだ心を治す仕事がたくさんあるという事を言っているみたいです。

私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。与え続けるのではなく、成長と自立を助けると言うことの様です。同じく、ロータリークラブとローター、アクトクラブが互いに支え合える、新しい方法を見つけ、続ける努力を継続しないといけなひとも言っています。

**女兒のエンパワメント**(力を与える自信を与えるもの)世界中の少女が強く、十分な能力を身に付けた女性へと成長できるような支援する努力を継続する。

・**「ポリオのない世界」という夢を追い続け、大きなことを成し遂げたこの 35 年を私たちの誇りにすることができる。**

現実には、ビルゲイツの財団からの上乗せを全額得るために 5,000 万ドルを集めると言われ続けることに、みんな疲れてしまっている。ポリオ根絶キャンペーン寄付者はロータリアンの 12 人に 1 人、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っている(日本や同地区は違うと思うのですが)。

しかし、ロータリーの夢を現実のものにするために、皆さんの力が必要です。ポリオワクチンの開発者、ジョナス・ソーク博士の言葉「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、想像力、そして勇気の中にあります」に耳を傾ける必要があると言っています。

・**暗記してほしい行動計画**「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します」

そのために、具体的に「平和にさらなる主眼を置くこと」平和とは、希望が根付くための土壌です。

過去に何度もそうしてきたように、ロータリー歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。

ロータリーでは平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。

・**テーマ「世界に希望を見出そう」**地球の多くの人が希望を失う理由は、物質的貧困だけではない。誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇氣ある行動です。世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めると考えられています。自分の弱さを認め、助けを求めるとは、勇氣ある行動であり、幸せへの道を求める事は、さらに勇氣が必要なことです。次年度の私たちの計画は、世界の平和をもたらす、紛争の影響を受けた人々を癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うために、お互いの地域社会を支え、助けを求め



ることに対する社会的な偏見をなくすことです。メンタルヘルスの専門家なら、誰でも口を揃えてこう。「他の人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ」と。ゴードン会長は、「情けは人のためならず」が一番言いたいようです。

酒井法丈 2760 地区ガバナーエレクトは、豊田ロータリークラブ所属で、2019 年から幹事、20 年から副会長、21 年から会長エレクト兼ガバナーノミニ、22 年からガバナーエレクト兼クラブ会長をしていて、いよいよ 7 月からガバナーになると言う本当に忙しい方です。

**地区方針「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ」となっています。**

地区は、伝達する立場ですので、依頼が多くなります。先ほども触れましたが、クラブやメンバーが好きと言うロータリアンは多いと思います。ガバナーの言うところの日本で培われた、好きなロータリー感は、「親睦と奉仕の絶妙なバランスの上にステータスある立場を築く」がもともとで、世界調査結果による今日のロータリーの姿と、なりたいロータリーの姿にギャップがある。を埋めるべく「世界を変える行動人」となるという流れのお話だったと理解しています。そのために

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的な関わりを促す
- ・適応力を高める

がテーマの流れです。

大きなインパクトとは、これまでの奉仕活動のように隠匿積むのではなく宣伝もして。頑張る。これだけやっています、との事のように。

私は個人的には隠匿で良いかと思いますが、与え続けるのではなく、奉仕される相手や地域の団体・法人が成長して独り立ちするように促す関係構築ができるように協力し合うと言う点は目指すべき奉仕活動であると理解できます。

**DEI(Diversity Equity Inclusion)について**

- ・多様性に反する壁、無意識の偏見をつくっていないか？無意識の偏見があることを認識しないとイケない。
- ・公平さは平等と違う性質・特徴・能力の差を踏まえて、考え方や方向性を調整する必要がある。
- ・一体性は、多種、多様な考え方や価値観を受容して、違いや個性を強みとして活用して、個人と組織の双方が最大の力を発明できる状態とすること

このような行動計画 DEI を追求することで、ロータリアンであることの名声や伝統が傷つき不快な方向で変革を導くのではないかと危惧するは当たらず、培ってきた強い目的、意識ぶれない向上心はロータリアンとしてのプライドであり、発展維持していくためにロータリーブランドをはぐみ進化しないとイケない。過去を称えるとともに、継続と確信の理想的なバランスがとれた未来、希望を生み出し、受け入れなければなりません。

酒井ガバナーエレクトは「温故知新」が一番言いたいようです。西名古屋分区のガバナー補佐は、名駅ロータリー所属の藤井圓隆さんは、鑑定事務所のオーナーですが、本職はお坊さんです。

14クラブエレクトの懇親会もありまして、下記ガバナー補佐からの依頼です。

・IM 2024 年 2 月 14 日協力

・増強(3 年前水準に)

・地区大会全員登録

・RTF ロータリーサンクスフェスティバル (WFF から名前が変わります。)2024 年 4 月 13-14 日チケット購入広告協力

・シンガポール、国際大会への参加などがございました。

世界は世界、地区は地区、うちのクラブはうちのクラブとして楽しくやっつけようと思っていますので、引き続きご協力をお願いします。以上 PETS 報告とさせていただきます。

## 退会の挨拶

出口雅士



3 月 24 日の夜に人事発令がありまして、サラリーマンの性と言いましょか。紙1枚で翌日から環境が変わっていくということ、本当に受けております。昨年の 4 月に名古屋に

赴任をしてきて、私は地元が三重県で、妻は名古屋市の出身ということで、ようやく久しぶりに名古屋に戻ってこれたなど、家族一同、名東区に引っ越してまいりましたけれども。

まさか 1 年でまた東京の日本橋に、戻ることになるとは想像もつかなかったので、家族はもう名古屋市に住み、私が東京の方に単身で行くという運びになりました。先ほどからも本当に単身で東京、遊びたい放題じゃないかというようなありがたい言葉も頂戴しておりますが、残念ながらお金がないとなかなか楽しめない土地でもあるのかなというふうに、ちょっと感じております、もともといた部署に戻るというような人事になりましたので、改めてわかった地域ではありますので、しっかりやっていきたいと思っております。ただ、弊社からの部分で、ちょっと空白の期間ができてますので、後任についてはまた引き続き社内で働きかけしてまいりますので、松尾次期会長にご迷惑をおかけしないようにしっかり話をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本当に短い間ですが、何もお役に立てなくて、本当にお恥ずかしい気持ちでいっぱいなんです、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

## 今後の例会予定

4月 5日(水) 例会変更「岡山丸の内 RC 交流夜間例会」

4月13日(木) 会員卓話 小野素尊さん、今村昌根さん

4月20日(木) 会員卓話 藤田守彦さん、長谷川龍伸さん

4月 27日(木) 休会(定款第 7 条第 1 節—(d-1)により)

4/29「昭和の日」



【2023-24年度 目標】

2023-24 年度ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)  
 第一地域 飯村 慎一  
 iimura@koyonet.com  
 第二地域 伊藤 靖祐  
 yito@seiei.ed.jp  
 第三地域 永田 壮一  
 sochan0001@me.com

3年余り続いた新型コロナウイルスの感染も減少傾向となり、政府のウィズコロナ政策で少しずつ対面式の会合も増えてきました。日本のクラブも通常の例会が増えてきているように感じます。その中で、ロータリー会員の皆様にはロータリー財団への寄付、人道的奉仕活動への参加等、ロータリー活動へのご尽力に感謝申し上げます。

昨年度は佐藤芳郎 RI 理事のお声かけもあり日本のすべての地区で「世界ポリオデー」のイベントを開催していただきありがとうございました。日本のロータリー会員が一つのイベントで繋がって行動を起こせたことに感動と勇気をいただきました。これからもポリオが世界から根絶されるまで続けてまいりましょう。ご不明な点があれば各地域ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) にご相談ください。

重点分野に加わった「環境」では、日本でも多くのクラブが海洋・河川の環境保全に取り組んでいます。また、ウクライナへの人道支援、パキスタンへの災害支援はもとより、最近起きたトルコ・シリア地震にもロータリーの支援が始まっています。こうした人道的支援を行うためにもロータリー会員の皆様からのロータリー財団への寄付が必要です。地区の人道的奉仕活動の資金源となる年次基金へのご寄付、大口寄付、恒久基金・冠名基金などを知って頂くのはもちろんの事、自動定期寄付など持続的で確実な寄付の方法を周知していただくよう、ロータリー財団地域コーディネーターと補佐 (RRFC、ARRFC)、恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA)、ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) で力を合わせて進めてまいります。

新しい手続要覧 (2022) では、新たに「ロータリーの戦略計画」が追加されました (P6~7)。その中で、「世界中で持続可能な変化を生むための新たなビジョンの実現に向けて行動する時が来ている。」と述べています。私たちロータリー会員は今行動しなければなりません。Take Action! です。微力ながら、私たち地域リーダー (ロータリーコーディネーター、公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA)、ポリオ根絶コーディネーター) が協働してクラブやロータリー会員の行動計画に貢献していければと願っています。また、次年度はロータリーアクトクラブが積極的にロータリー財団に関わっていけるような活動も考えて参りましょう。

次年度 (2023-24) の日本の目標を次の通りといたします。各クラブへのご周知をよろしく願いいたします。

■ 年次基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たり150ドル</li> <li>・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する</li> <li>・Every Rotarian Every Year (年次基金への寄付) の推進</li> <li>・ポール・ハリス・ソサエティの推進 (各地区+30名目標)</li> </ul>
■ ポリオプラス基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たり30ドル</li> <li>(1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)</li> </ul>
■ 恒久基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠名基金を各地区1件以上設立 (個人・クラブ・地区いずれも可)</li> </ul>
■ 大口寄付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件</li> <li>「大口寄付 0地区」ゼロを目指す</li> <li>・AKSを日本全体で10名増やす</li> <li>中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す</li> </ul>
■ DDF の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区期末DDF残高ゼロを目指す</li> <li>・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈 (寄贈いただいた地区は表彰状が贈られます。)</li> <li>・ロータリー平和センターへの寄贈</li> <li>・7つの重点分野への寄贈</li> </ul>
■ 奉仕活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界ポリオデー」に地区やクラブでイベント企画・実施</li> <li>・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進</li> <li>・ロータリー平和フェローシップの推進</li> </ul>